

令和4年度第1回

総 合 教 育 会 議 《 会 議 録 》

1. 日 時 : 令和4年12月26日(月曜日)
午後3時30分 ～ 午後6時00分

2. 場 所 : 倶知安町役場 3階 第1委員会室

3. 構 成 員 : 町 長 文 字 一 志
教育長 村 井 満
委 員 長 谷 一 (欠席)
委 員 本 間 珠 美
委 員 樋 口 朋 子
委 員 日 村 一

4. 出席者(要綱第4条第3項による) :

副町長	菅 原 雅 仁
統括監	福 家 朋 裕
総務課長	多 田 敏 之
総合政策課長	黒 田 智
学校教育課長	岡 田 寿 江
社会教育課長	福 原 秀 和
総務課主幹	新 保 好 人
学校給食センター所長	笠 原 久美子
総合体育館長	藤 井 政 利 (欠席)

5. 書 記 : 学校教育課主幹 高 橋 淳 之
学校教育課総務係 関 口 展 弘

令和4年度第1回総合教育会議

岡田課長

皆様こんにちは。
本日はお忙しいところ、よろしくお願いいたします。
開会に先立ちまして、最初に議事録署名委員についてお願いします。
本日の議事録署名委員は樋口委員、日村委員にお願いいたします。
令和4年度第1回総合教育会議を始めます。
開会に当たりまして、文字町長より御挨拶をさせていただきます。

文字町長

皆さんお疲れさまでございます。
年末、師走もですね、本当に差し迫った今日でございます。
御多用の中、こうしてお集まりいただきましたこと、心より感謝申し上げます、ありがとうございます。
令和4年度の1回目となります、総合教育会議をこれから進めさせていただきますけれども、改めまして総合教育会議というものは、町長と教育委員会が教育行政の大綱ですとか、重点的に講ずべき施策等について協議調整を行うということ、そして両者が教育施策等について協議を、調整を行って、教育行政政策の方向性を共有すると、そういった場でございます。
さらに、今日はですね、これまで長い時間かかっておりました小学校の課題もございます。
そういった部分、この部分に関しましては秘密会とさせていただきますけれども、そういった形で、本日限られた時間ですけれども、中身の濃い会議とさせていただけたらなというふうに願っております。
どうぞ皆さんの御協力のほどよろしくお願いいたします。
簡単ではありますが挨拶とさせていただきます、よろしくお願いいたします。

岡田課長

ありがとうございました。
それでは、協議事項に入らせていただきます。
この後の進行につきましては、当会議の運営に関する要綱第6条の規定に基づき、町長により進行をお願いいたします。

文字町長

はい。
それでは早速、協議事項ありますので、本日の協議事項3点ございます。
1点目は、令和5年度の教育行政の方針について、そして2点目は、令

和 5 年度の新年度予算ですね、これらについての説明。

そして最後の協議事項 3 については、倶知安町立小学校における事故案件について、ということでございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、協議 1 に早速入らせていただきたいと思います。

まず、教育大綱に基づく教育行政の現状、そして教育における重点的に講ずべき施策等について、村井教育長から御報告をいただきまして、その後、教育委員の皆さんから御意見をいただき、また、私の考え等もその中で述べさせていただくような形で進めさせていただけたらなというふうに思っております。

それでは、村井教育長お願いいたします。

村井教育長

はい、教育長でございます。

それでは改めまして皆様、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

今、町長のほうからもございました。

私のほうからは、昨年度も同じような形で御説明させていただきました。

次年度、令和 5 年度の教育行政執行方針案の概要ということで、具体的な取組、来年度特に力を入れていきたいという、その具体的な取組を中心にしまして御説明をさせていただき、忌憚のない御意見をいただければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(以下、村井教育長、資料に基づき説明。)

大変雑駁でございましたが、来年度に向けてまた様々な課題が出てきておりますので、一つ一つ丁寧に取組を進めていきたいと思っております。

そのためにも本日、冒頭お話ししましたように、忌憚のない御意見をいただいて、また生かしてまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

文字町長

はい、ありがとうございました。

ただいま教育長から、来年度、令和 5 年度の教育執行方針の第 1 案ということで、概要について説明がありました。

かなり継続の部分、そして新規の部分、あったかと思っております。

今説明あったときに、この A4 のほかにですね、A3 の資料もあったので、これ各担当からの今後の課題一覧という部分であったので、これらについても補足的に見ていくと、今の概要の説明に、さらに理解しやすくな

るのかなというふうに思っておりますので、参考にさせていただきたいと思っております。

皆さん、委員の皆さんからですね、順番問いませんけれども御意見、来年度の執行方針についての概要について、質問あるいは御意見等いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

奇しくも来年、私も再選を目指して選挙なものですから、あれなんです、一応公約今つくって作業してるんですけども、やはりその中で1番大きなところというのはやっぱり、倶知安の町で本当に、重い腰を上げた中で人材をいかにして育成してくんだというところ、人材確保も含めてですね、そういったところに果敢に、積極的に力を入れてみたい。

それは何も教育だけではないんですけども、様々な部分で、その中でやっぱり根幹になるのは、やっぱり教育関係だと思うんですね。

ですから、今回5年度の執行方針案ということでありましたけれども、例えば身近なところでは、職員の体制の充実を図るという新規のところ掲げておりますけれども、実際に心身の健康管理だけではなくて、やっぱりいろいろな技術的な、人に伝えるという能力というか、そういったものをもっとしっかりと着実にスキルアップしていく、そういったところというのは大変重要になってくると思っております。

そういったところというのは何のためっていう部分は、職員のためというよりは、町民の信頼をどれだけ勝ち得るのかというところに目指してですね、そういったことをしっかりと職員レベルでもやっていきたいなというふうに思っておりますし、もちろん子育て、このコミュニティースクールですね、これ本当にいいスタートを切っていただいたので、いよいよ本格的にという形で、これから進めていけるのかなあという形で、大変期待しているところでございます。

やはり地域とどうやって結びつけて子供を育てていくのか、そしてその中で、地域もそこで成長していくんだというところ、というのは物すごく大きなみそだと思います。

子供だけが育つんじゃなくて、大人も地域も育っていくんだっていうところの考えを持っていくっていうのはまさに、すごく、それこそっちゃん子条例の根幹的なところだと思っておりますので、そういったところをすごく反映させていただいているのかなというふうに思っております。

どうぞ皆さん、御遠慮なく質問等いただけたらなと思います。

特によろしいですか。

なければまた後で、話あったらいただこうとは思いますが。

本間委員	はい。
文字町長	はい、どうぞ。
本間委員	はい。 小学校の適正配置の計画についてなんですが、倶知安町はお金がないのは知ってるんです、たくさん借金してるのも知ってるんですよ。 だけど、町長のお考えとして、まだ宅地造成も進んでるし、まだまだ流動的だからもうちょっと待とうかな、みたいなお考えがあるんでしょうかね。
文字町長	はい。 この4年間の中でまた状況は変わってきたのかなというところはあるんですが、ちょっと急いで取り組まなければいけないということ、かといって優先順位が低いってということではなくて、今の子供たちの動き方、社会の教育に関する目線の置き方っていうところも、様々な部分で今、スポーツ、クラブ活動というかね、体づくりに関して言っても、日本全国少子化になってて、様々な試みが今起きてるなっていうところもあります。 当然ながらクラスが、一つの学校にクラスがいっぱいあって、統合されてね、その結果クラブ活動のチームがつかれる、サッカーチームもつかれる、バスケットチームもできる、様々な、ソフトボールもできるという環境に育てていきたい。 私たちが子供たちのときには、いろんなスポーツが選べたし、チームもそれぞれの学校でつくれて大変よかったし、そんな心配なんてこれっぽっちも考えたことなかったんだけど、今はなかなかそうではないというのも重々承知しております。 そして、クラスの中で、そういった席替えだとかも含めて、交流、子供たち同士の交流というのもなかなかしづらいので、統合の良さっていうかメリットっていうのもすごくあるというふうに思っております。 ですけれども、先ほどお話ししたように、様々なやり方、手法によって、逆に気づかなかったメリットというものを生まれてるっていうところもあるのかなっていうところがあります。 例えば、倶知安町内だけの子供たちのクラブ活動で出来なければ、広域的で今、羊蹄山麓だったら山麓の中でのやりとりがあって、そこで地域的な交流が増えて。 昔は倶知安町内だけの学校だけで育成していけばよかったんですけど

も、その分苦勞はあるけれども、いろんな部分での新たなメリットもあるようになっていうところも考えると、果たして、全てが全て統合すればっていうことがハナマルなのかっていうとどうなのかな、というところもあります。

でも、一概にそれだからといって出来ないんですが、ただ倶知安町の人口、このままですね、今のシミュレーションでいくと、下がることは下がるんですけどもまだまだちょっと不確定要素が余りにもちょっと大き過ぎるなっていうところがあります。

やっぱり 2030 年という一つの目安、それに向かってどのように動いていくのか、そしてその前後というところをちょっと見たいなというのは個人的には思ってます。

ただ見方によっては、これとはまた別に、学校は統廃合するべきだっていう本来の、平成 28 年ですか、の答申のとおり進むのであればということがありますがけれども、今ちょっと今しばらく立ち止まった中で、ということでこの 4 年間私はしてきたんですけども、これからの 4 年間で、先ほど教育長もありましたけれども、様々な資料だとかっていうのを改めてですね、基本的なメリットデメリット出てくるってのは多分変わらないと思うので、その部分プラス状況で変わったものだとかっていうのをちょっともう一度整理させていただけたらありがたいなというふうに思っておりますので。

本間委員

はい、わかりました。

日村委員

はい。

文字町長

はいどうぞ。

日村委員

今の町長さんのお話聞いていると、次の 4 年間の任期の間で、早急に統廃合の結論を出すということはしないというふうに受け止めていいですか。

文字町長

4 年間なので、その中で、進めてって資料を整理していく中で、可能性というか、方向性というのが見えてくることはあると思うんですね。

ですけれどもそこの中で目標として、4 年間の中で、なんかた白黒はっきりしなきゃいけないっていうところまでは今現時点では示すことがちょっと出来ないのが、ちょっとせつないかなっていうところであり

	ます。
日村委員	いいですか。
文字町長	はい。
日村委員	この後も出てくると思うんですけども、結局この統廃合に関わって、これがあいまいというか、むやむやしてる間の状態では、なかなか校舎の改築だとか修理だとか、そういうものに手がつけられないような状況にあるというのが今現在だと思うんですよね。 そのために、やっぱりもしそういうふうに統合を、今は適正配置についてね、まだ結論が出ないという状況の中で、今後大規模改修だとかそういうことに関わって、予算をなかなかつけにくい状態っていうのが生じるんだけども、それをどう、うまく調整していくかっていうことが大きな課題になってくるんじゃないかと思うんですよね。 その辺り、ちょっとお考えを聞かせていただければ。
文字町長	おっしゃるとおりですね、やっぱり大規模改修ということになると思うんです。 だからその中で、本当に適正配置、しかもどこの学校とどこの学校が一緒になってっていうところまでいって初めて大規模改修の計画も具体的になるのかなというふうに思っております。 なので、そういった部分、今曖昧でこの4年間、これから4年間の中で、それが決めた、決めないと多分そのあとの4年間というか、に大規模改修持っていけないと思うんですよね。 ですからある程度のところ、4年間の中でどこまで整理ができるかっていうところにかかってくるとは思ってます。 ですからちょうどこの、何ですか、4年間の中で決着をつけるって言いたいところなんです。 言いたいところなんですけれども、そこまでの情報というか、整理がまだ出来てないので、というふうには思ってます。 可能な限り、本当にこの4年間の中で方向性が見えるようにはしていきたいとは思ってます。 そうすると大規模改修、どの程度進めればいいのかというのが、その後の多分4、5年というか、今後10年間の中で最終的にそこんところ出てくると思うんですけども、それが出来ないで皆さんには迷惑っていう

か、曖昧で、なかなか計画性を持てないっていうかね、本当に大規模な修繕というのはなかなかしんどいっていう話にはなってきたと思うんですが。

それと、学校だけではなくて、社会教育施設、ほかの施設も関連すると思います。

当然ながら、一つの学校がなくなるというとそのグラウンドと建物、そのあとどうするんだという話になりますので、当然、ほかの社会教育施設の老朽化だとか、そういったものにも全て絡んでくるので、そういった部分でのバランスっていうのも配慮しながら検討していく期間になろうかと思っております。

そのほかどうでしょうか。

なければ先に進んでよろしいですか、次に、取りあえずという形で。

また後でありましたらお聞きしたいと思いますので、時間も限られているので次に、先に進めさせていただきます。

協議の二つ目であります、5年度の予算編成に当たって12月に重点ヒアリングを行っていきましても、最終的に町長査定というか、財政局での査定だとか、様々ありますけれども、先ほどのお話の中から教育委員会として、重点的なものを挙げてあれば伺いたいというふうに思います。

岡田課長

そしたらですね、A3のほうのこの一覧表のほう御覧いただきたいと思います。

先ほど教育長のほうでですね、教育行政方針の概要についての説明の中ではほぼ網羅されているところなんですけれども、できれば学校教育課として重点でも挙げてるんですが、何とか、財政状況厳しい中ですがでもお願いしたい事項としましては、一覧表学校教育課の、下から二つ目ですね、「中学校における町任用教員の継続」というところで、これにつきましては、平成25年から学級編制により1学年が4学級編制出来ない場合は臨時教員を任用していただいているところですので、引き続き対応のほうをお願いしたいと思っております。

あとですね、一覧表のほうの、めくっていただきまして、「給食センターの人事について」ということで、笠原所長が定年退職というところでもありますけれども、人事が心配なところもございますので、このあたりについて御配慮いただければ大変助かるということで、よろしく願いいたします。

社会教育のほうに移ります。

福原課長

はい。

それでは社会教育課のほうの、こちらのほうも A3 のほうの縦の、課題ということで五つ並んでおりますけれども、特に予算面ということでございましたら、美術館のほうですけれども、美術館開館してからですね、約 22 年以上たっております。

施設そのものや設備につきまして、ほぼほぼ設備の更新等がなされていない状態でございます。

令和 6 年度以降にも、ということで載っておりますけれども、空調設備に関しまして、これ展示室事務室収蔵庫 3 台分ありますけれども、これの交換及び防水改修につきましては、何年度かに分けながらですね、改修進めておりますけれども、これについてもある程度金額のかさむものなので、適宜ですね、更新をしていきたいというところです。

社会教育課の施設に関しましては個別施設計画、今年度策定予定ですが、これを鑑みながら部分改修につきましても進めていきたいということで。

また、文化福祉センターにつきましても、これはもう 50 年近く経っているということでございまして、特に大ホールの壁や、それから音響設備等に関しましてもちょっといつ壊れてもおかしくないような状態となってきましたので、極力、設備改修については進めていきたいというふうに考えてございますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

文字町長

文化福祉センターの関係、老朽化、もちろん年数経ってるので老朽化しているんですけども、なんか今の説明を聞くと、何かもう、寸前みたいなイメージがしたんですけども、そうではないですね。

まだまだ持ってもらわないとならないですね。

福原課長

持つかもしれない、といったものであって、いつ、突然壊れて、大ホールの音響が使えなくなってしまうと、イベント等一切出来なくなってしまうということもありますので、それぞれ大きいものから小さいものまで、音響卓なんかは結構値段の嵩むものだったりとかしますので、こういったものにつきましても、逐次重点事項の順位に沿って計上していただければと考えてございます。

文字町長

ありがとうございます。

協議 1 と関連しての話なので、どうぞ御遠慮なく、御質問御意見いた

	だけたらありがたいと思います。
日村委員	はい。
文字町長	はい、はいどうぞ。
日村委員	給食センターの職員の人事についてなんですけども、ちょっと、私はずっと学校関係で異動してきたんですけども、ほかの部署に異動するっていう経験ないもんですからね、よく分からないんですけども、役場の職員って結構、課をぼんと異動して、この間まで住民課にいたところがいきなり建設課に行ったとか、そういう人事あるので、何でもないのかなと思うんですけども。 給食センターって何か、我々の感覚からいくと、例えばセンター長さんというところとすごく違う仕事、違う仕事ったら悪いかもしれないけども、何か役場にいる職員とは違う仕事をしているような感じにいるんですけども。 例えば、所長さんがはい今年退職になりました、次新しい人が別なところからぼんといって、すぐこう、うまく機能するものなんですか。 私たち学校だったら例えば、何とか中学校から何とか中学校に異動しなさいっていったら、はい分かりましたっていったって同じような仕事をすればいいわけですけども、なかなかその辺りがね、どうも感覚としてわかんないんですよ。 所長さんが退職します、新しい人入れてくださいって、簡単にぼんに行ってできるものなのかな、私の感覚からいったら副所長さんなりナンバーツーがいて、その人が退職した後行くっていうのはこれ、スムーズに業務連携できると思うんですけども、役場の職員皆さん優秀なので、そんなの気にしないでいいよって言われたらそれまでなんですけども。
菅原副町長	今までもそういう形でやってますし、多分、笠原所長さんも、前任どこでしたっけ。
笠原所長	住民係。
菅原副町長	住民係から行って問題なくやってるんであればですね、大丈夫だというふうに我々は。

日村委員	その時にね、だから、笠原所長さんが住民課から行ったときに、その、周りの職員というのは、例えばしっかりした人がいたとかね、いや今してしっかりしてないというんじゃないですよ、そういうちゃんとしたこのサブになってくれる人がきちっとした仕事を引き継いでうまく連携していけばいいんだけど、何かこのやつからいうと、臨時採用みたいな人がやっているような、そこへ新しい所長さんが行くってというのは、すごくこう、何か厳しい人事だなっていう気がしてならない。
菅原副町長	役場でも係 2 枚、係長、係そっくり変わるっていう人事異動、これは人事のいろんなところで動かしていくとですね、どうしてもそうなる場合もあります。 でも、そこは職員である以上ですね、対応していただかねばならない。 ただ、現状今給食センターについては、通常のそういう形での欠員とかじゃないもんですから、なかなか町もですね、ほかの部署もいろいろ、いろいろありましてですね、やりくりが大変な状況にはなってます。 ただ、来年度当然ですね、給食センターについては、退職後の所長は当然補充しますし、またその他の職員についてもですね、補充も考えていくという形で現状については考えてます。
文字町長	みんな新しく変わったところってすごく不安を抱えながら行くんですが、やっぱり先に行ってる係員だとか、様々な引継ぎだとか、そういったところでしっかりと丁寧にやってくっていうのが、やっぱり役場職員の、これ、避けられない宿命なのかなっていう感じで皆さん一生懸命頑張ってくれてます。
樋口委員	はい。
文字町長	はいどうぞ。
樋口委員	学校訪問へ行った時に、校長先生、教頭先生が授業を見せてもらいながら、俱知安はすごい、タブレットを持ってきたり、授業も家にいても出来たりとか、I C Tに関してはすごく進んで、すごくいいです、ありがとうございますっていうお言葉をよくいただくんですよ。 今、数年前から小学生の荷物が重たい、中学生のかばんが重たい、すごい、10 キロぐらいあるとかいう話があるんですけど、その中で東小学校の校長先生と教頭先生が、荷物が重たいのでデジタル教科書の導入を考

	えていただきたいというのを聞いて、私はすごい共感したんですけれども、予算もかかることだと思うんですけど、町長さんはその点についてはどうお考えでしょうか。
文字町長	もう移行できる部分というのは、全ては無理だと思うんですよね。 ただそここのところの切替えがすごく、逆に重くなる可能性もあるので、だからそういったところには教育委員会のほうもですね、研究していただいているので、本当に重過ぎるっていうか、何かいいことをやればやるほどなんか重くなるし、いい図鑑というか、そういった教科書だってすごくいい写真だとか、きれいなものができれば重たいんですよね。 昔みたいにぺらぺらの紙だったらば厚くたって軽かったのに、という感じでね。 そういった部分で、進化すればするほど何か、そういったところにしわ寄せが来てて、まだ体がちっちゃい子供たちが大きな荷物を背負って学校に行かなければならないっていう不思議な状態になってるんですけれども、できるだけ本当にそういった部分、少しでも軽量化できるようなことってというのは積極的に検討させていただきたいと思っております。
樋口委員	ぜひよろしくお願いします。
文字町長	本当、ＩＣＴをうまく使ってるほうだと思います。 職員もそうですし、教育長が率先してそういった部分に力を入れてくれてるのでありがたいですし、今、それこそ電子図書館についても、今タブレットで子供たちが使えるようにして、まだスタートしてないのかな、もうするよね、それもいよいよなので、自宅でもどンドン電子図書使えるようになりますので、楽しみにしててください。
日村委員	はい。
文字町長	はいどうぞ。
日村委員	プールの建て替えの件なんですけども、もうプール建て替えが決まって、用地も決まってっていう形で聞いてますけども、絵本館を、何ですかね、同じ施設にっていうか、別施設になるのかそれわかんないけれども、同じように移転してつくろうというふうに計画しているんですけども、絵本館だけじゃなくて図書館を含めてつくるっていう考え方は町長さん

にはないですか。

文字町長

私も考えとしては、本当は理想はセットで考えたかったんですが、もう絵本館というのは長い歴史というかスタートのときからの蓄積、あるいは考え方、利用の仕方、ある程度の本当にベースになるものがしっかりと出来ている、それをさらによくするという段階にも入っていると思うんです。

ですから、今度リニューアルする中で改めて、もっともっと伸びるような形、子供たちだけではなくて大人も使える、大人も絵本に親しめるようなものが、もうちょっと色濃くできればなっている個人的な期待というのは思っております。

その中で本来は図書館も一緒にセットにして考えたかったんですが、図書館を考える上では、やはりもっと土台が全然足りてないな。

図書室しかない、倶知安には図書室がないとあって、ずっと言われ続けて、批判されて、寂しい思いを皆さんにさせているんですが、それを土台となるベースがまだまだ足りてないというふうに思っております。

それを待っているとですね、絵本館、リニューアル出来ないというところでのジレンマがあって、残念ながら今後の図書館については、もう構想段階からしっかりと、本当に地に足をつけた中でステップを踏んでいきたいなというふうに思っております。

それが来年以降、本格的にちょっとスタートしたいなというふうに思っておりますので、なかなか同時に行けなかったというのが正直なところです。

日村委員

ということは今の話をしますと、図書館も近い将来新しくなるというふうに。

文字町長

建設年度は公に出来ないんですが、次の4年間の中で少なくとも基本構想まではたどり着きたいなというふうに思っておりますので、そうした中で、ある程度の財政計画だとか算段だとか、土地どこにしようとか、その中で議論できると思いますので、ある程度、何年度ぐらいに着工できるかっていうところの目安っていうのが大体見えてくるのかなというふうに思っておりますので、この4年間、次の4年間の中でそこまではたどり着きたいなと思ってます。

日村委員

はい、ありがとうございます。

ところでこれ聞いたら駄目なのかもしれないけども、プールの来年の貸借関係ってどういうふうに、目途ついたんですか。

村井教育長

それは私がお答えさせていただきます。

何とかですね、いろんな市町村さんが思った以上に好意的に対応していただきまして、まだでも、ここまでできるっていう状況にはなっておりませんが、ひとまず学校関係については、随分圧縮するんですけど、何とか、今のところ全学年最低1回以上は対応できるっていうふうなところまできてます。

あとはスイミングスクールの関係ですとか、あるんですけど、これにつきましても御協力いただけるっていうところが幾つかございますが、ただ、繰り返しになりますが今年度やってきた、つまりアルペンにお願いしてきたレベルにはなかなか、学校もそうですけれど、難しいっていう状況です。

これ正直同じようには、恐らく可能性としては極めて低いというふうに思っていますが、可能な限りですね、何とか、もし寿都も可能であれば寿都までも少し広げて動きがつかればなあというふうに考えてます。

もう既に私とのやりとりはある程度もう出来てまして、現場同士で打合せに入っているという状況になっています。

できるだけ良いお知らせをしたいなと思っているところです。

いずれにしても、今年度中にはもう目途を、目鼻をつけないことには予算の関係もございますのでね、できるだけ早い段階で大枠を決めてしまいたいなということで、今一生懸命頑張っているところです。

文字町長

はい、ありがとうございます。

ほかどうでしょうかね。

ちょっと話逸れるかもしれないんですけども、よく社会福祉協議会だとか、あそこにもいろいろな福祉団体だとか、老人クラブの方々だとか、様々な方々がお集まりいただいてまちトークやったことがあるんですけども、その中で、結構やっぱり地域の年寄りだとかで、特にコロナの期間が長過ぎて人との接する、交流する時間がすごく極端にもうなくなったっていう部分もあったんでしょうけれども、物すごくいろんな声が大きく出たのが、やっぱり地域だとか子供たちとの関わり合いをもうちょっと持たせてもらいたいっていう。

そうすると何か自分たちもやりがいっていうか、生きがいまでは大げさな話かもしれないんだけど、もっともっと子供たちと触れ合う機

会だとか、自分たちの、高齢になっている方々でもやれることっていうか、何かこの地域に貢献できることってもっとあるはずなので、そういった張り合いをつくらせていただきたいという話が物すごく出てました。

なので、コミュニティースクールなり何なり、社会教育の一環であったりどんな取組でもいいんだけど、何かそういった機会っていうのを、もうちょっとコロナが安定してくると、もっとより展開しやすくなるのかなあと思うので、そういったところも、何だろう、本当に切実に何か声がすごく出てきたので、今後の展開に何かできることないかなというふうに考えてますので、何かいい取組の話があれば、この教育、学校関係の観点でもですね、もらえたらつなげれるなあと思ってます。

村井教育長

今町長からお話のあった、コミュニティースクールがそれにどう関わっていくかっていうところだと思うんですね。

で、今コミュニティースクールが非常に重視しているのは、今までは、例えば社会教育課なり、学校教育課、教育委員会が全部セットをして、さあこれであとは皆さん来てくださってというような取組いたったんですけど、そこから一步ね、もう一步レベルを上げて、地域の皆さんとつくっていく、そういうような活動を仕組んでいきたい。

高齢の方でもいろんなノウハウを持っていっぱいいますので、そういうものをぜひ生かして、企画の段階からそういう方々に入っていて、一定程度時間のある方は少なくないと思うんですね。

そういう人たちにぜひですね、そういう熱い思いを持たれている方たちが一定程度組織できれば、面白いことはできるんじゃないかなあっていう気は、今本当に漠然としてるんですけど、これからのコミュニティースクールの発展形としては十分ありうるなっていうふうに考えてます。

そして、これも町長おっしゃったとおりで、年をとってきて、やってもらう側になってしまうっていうことに対してですね、私も少し感じているけれども、やってもらうんじゃなくて何かやってあげたいっていうことですよね、そこがすごく大きな、生きる上での張り合いになっていくんじゃないかなと思うんですよ。

ですからそんなようなものがつくればいいなと。

そのためにはやはり、セットされていてそこに何かお邪魔しますって来るんじゃなくて、自分たちでつくっていくっていうんですね、そういうものが出来ていくような取組をしたいなと思ってました。

文字町長

ぜひ、何だろう、これはどこの部署でやらなきゃいけないんだ、だとか

ってこだわらない形で、町全体でそういった場というのをいろんな局面で絡めていくような仕掛けっていうか、そういうのを積極的にやっていきたいなというふうに思うんですね。

はい、ありがとうございます。

そのほかどうですか。

せっかくなのでちょっと皆さんからも確認っていうか、御意見欲しかったのは、今小学生、中学生、さらには英語教育に随分力を入れて、うまいことオールイングリッシュの授業もさせていただいてですね、継続させていただいております。

これはほかの自治体、あるいは、だけでなく、からもかなり注目されて、大変、継続すること自体も大変なんですけども、予算的にもそうですし、ただ僕も今年初めて授業参観させて観たところですね、子供たちのあの目の輝きったらありやしないなっていうところが、すごくうらやましくって仕方なかったですね。

だから続けていきたいんですね。

だからその部分に関して、多少やっぱりこういう何千万もかかる話なんでね、やっぱりこの分野、教育分野についても、中での予算についてもかなりウェイトを占める、独自の、これ別に補助金もらってるわけでも何ともないのでね、結構なことなんですけれども、やっぱり委員さんの皆さんのにはもうちょっと様子見なきゃ分からない、それともいやもうどんどんどんどん積極的にこれは、持続的に進めるべきだって、どう思われてるのかなあというのが、若干思いながら、しております。

それについてどうでしょうか。

中身にはよると思うんですけどね。

ただ成果が見えるっていうのがなかなか見づらい部分ではあると思うんですけども、ただ検定みたいなのをやってるので、かなりメニューは見えるような形なんだけれども、だけど本来はそれが目的ではないんだけどね。

日村委員

はい。

文字町長

はいどうぞ。

日村委員

すばらしい取組だと思います。

ほかの町村ではなかなか体験出来ないことをですね、倶知安の子供たちは体験出来ているということはすばらしいことで、本当に町長さんの

考えで、もとでこのようにですね、予算を使っていただいて大変ありがたいことだなと思っています。

ぜひ今後ともお願いしたいなというふうに思ってます。

文字町長

これまた倶知安がこういった国際観光都市っていうか、国際リゾートだとかっていう、なくなったら、何でやってんのつつって、また別な理由になっちゃうんですけれども、うちの町の特性っていうか、もっとそれを生かしていきたいし、大きくなったときに、ここに帰ってきたらはっきり言ってどれだけ仕事がないというか人手不足なんで、もっともっと幅広に展開できるだろうし、英語という一つの日本語以外の言語を知ることによって、世界を見る目が変わると思うんですよね。

そういった部分ではほかの国の文化を知ることにもなるし、実際に海外に行こうというのにも物すごくハードルが低くなるっていうか、そういった部分で自分の夢を進める選択肢が広がるっていう部分では、大変やっぱり、小さいときにこういった機会をつくるっていうの物すごく重要なのかな、お金も耐え難いな、もうちょっと安くならないかなと思いつつ、思っておりますので。

日村委員

倶知安の教育は非常にそういう意味では、こういうふうに言ったらほかの町村に怒られるけども、非常に群を抜いたすばらしさがあるんじゃないかと思うんですよね。

倶知安プランとか、そういうことを教育委員会が中心になって各学校で進めていて、こういうことをやっている町村というのは倶知安だけじゃないかなというふうに思いますので、ぜひ教育委員会も今後ともね、このような取組を続けていただければというふうに思っています。

文字町長

本当にせっかくいいものを使ったとしても、応援してくれる方々がいないと多分挫けると思うんですよね。

恐らく予算的にも、そういった部分で町民のバックアップっていうか、そういった意識を持って初めて予算化になるし、そういった子供たちを育てるためのお金の使い方として発生してくるのかなあと思うので、そういった部分ですね、何か、行政がやってるからっていうんじゃないかって、これってはっきり言ってみんなから支持得なかったらすぐ予算落ちます、正直言って。

だからそういったものなので、ものすごく重要だと思います。

だから今やってる子供たちっていうのもっともっとこれから、次の

発展形として、もっと地域っていうか、大人のところで見せつけるっていうか、見せる場っていうのをもっとやると、もっと、おーすげえな倶知安の子供たち英語ぺらぺらしゃべってるぜって、外国人とね。

それがまた何か生み出したりとかってなれば、もっともっと金使えとかっていう話になっていくのかなって思うんですよね。

本間委員

はい。

文字町長

はいどうぞ。

本間委員

今の、それこそ倶知安の子供を、もうぺらぺら英語をしゃべれるように、中学３年までで、義務教育の間倶知安町がしっかりバックアップして行くっていうのは本当にすばらしいことだと思うんですよ。

それで、高校の魅力づくり支援事業の中にも、ぜひ地域の声としてね、高校に例えば英語コースをつくるだとか、一時ちょっと、今はちょっと下火になってしまいましたけどもインターナショナルバカロレアを考えるだとかっていうふうに、やっぱり地域ぐるみで倶知安は英語教育に力を入れてるっていうのを、ぜひ見せていっていただきたいと思います。

文字町長

はい。

今、小中高の先生方っていうか、あの世界では連携とっていろいろ事業やりくりしてるっていうことですがけれども、その先っていうのも多分見据えた中でできるともっと広がっていくのかなあという展望がね、と思いますね。

ぜひぜひそこまでいけたらなと思います。

ほかよろしいですか。

取りあえずそしたら、令和５年度に向けた取組の方向性という形で、予算につきましては厳しい査定が待ってますけど、一応考え方としてこういった形で進めていくということで、今日のところはまとめさせていただきます。

ありがとうございます。

それでは次に協議３に入りますけれども、協議の三つ目については秘密会という形になりますので、出席者の関係職員以外については退席していただいて結構です。

よろしくお願いいたします。

【 非 公 開 】

- | | |
|-------|--|
| 文字町長 | ほか皆さんから何かいただければありがたいですけれども、よろしいですか。
教育長、よろしいですか、そういった形で今日の会議閉じさせていただいてよろしいですか。 |
| 村井教育長 | はい。 |
| 文字町長 | 一応そういうことで、ちょっと時間長くなってしまいましたけれども、次に向けて我々も進めさせていただきたいので、皆さんの、これからです、御協力御理解のほどよろしくお願いしたいと思っております。
本日は長時間に渡りまして総合教育会議ありがとうございました。
お疲れさまでございました、ありがとうございます。 |